やまみなみ校園長だより No.31

令和５年３月１７日
岸和田市立山直南小学校・幼稚園
校園長　仙石　晴彦

春休みこそ「家庭での読書推進」を

〇本校の子どもたちは、家庭での学習活動に大きな課題があることが、これまでの様々な調査やアンケートから明らかになっています。

〇家庭での学習活動にも、学校からの宿題や家での習い事、自主学習（マイノート）などいろいろな取り組みがありますが、今、学校として一番力を入れていきたいのが「読書活動」です。

〇３学期に行った最新の読書アンケートによると「１週間で１度も本を読む機会がない」と答えた子どもたちが、大きく過半数を超えるなど子どもたちの読書離れには本当に憂慮するものがあります。
また世界規模の調査においても、日本の子どもたちは「趣味としての読書をしない」と答える割合がとても高く、世界の他の国々から大きく遅れをとるなど、読書離れの傾向は本校だけではなく日本全体の課題でもあります。

〇学校でも、２学期から「タブレットを活用した読書活動」や「多読・平行読書を取り入れた授業づくり」など、読書活動の充実を視野に入れた取り組みを進めてきているところですが、子どもたちの読書活動への劇的な変容には、まだまだ至っていないのが現状です。

〇読書活動は子どもたちにとって、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことのできないものだと言われています。

〇年度が替わるこの春休み、学校からの宿題は出しませんが、子どもたちにはタブレットを持ち帰ってもらい、タブレットを活用した読書活動を推進していきたいと考えております。

〇ご家庭とも危機感を共有していきながら、子どもたちの読書機会の充実に取り組んでいけましたら幸いです。よろしくお願いいたします。